

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2月2日

計画の名称	1 千葉県における安全・安心・にぎわいのある港湾・海岸の整備（地域活性化）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	千葉県 ・ 千葉市 ・ 館山市
計画の目標			

・ 県内港湾の施設整備や長寿命化対策を実施し、物流機能の拡充・強化を図り、安全で使いやすい施設を提供することにより、港湾利用者の利便性の向上、住民の憩いの場など、魅力ある港湾空間を形成し、産業・地域の振興並びに地域経済の活性化を図ることを目的とする

計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 緑地整備及び旅客船桟橋を整備することにより港湾来訪者数を増加させ地域の活性化を図る。
- ・ 港湾施設の整備促進を実施することにより、船舶収容係留隻数を増加させ、港内における船舶の航行・停泊の安全を図る。

定量的指標の定義及び算定式

港湾緑地来訪者数
平日、休日等の現地調査により来訪者数の推計を行う。（既に部分供用されている緑地は計上しない。）

施設整備による係留船舶隻数
（船舶収容施設整備による係留隻数）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
0人	—	推定来訪者数 300千人
0隻	—	30隻

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,773 百万円	A	2,748 百万円	B	0 百万円	C	24 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.88%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	--------	---------------------------	-------

事後評価

1. 交付金対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
												小計（道路事業）					0	

A2 港湾事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A2-3	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	航路・泊地(-6.0m)	V=9,000m3 浚渫	千葉港・八幡地区						22		
1-A2-4	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	緑地整備	A=1.5ha 護岸工・緑地工	千葉港・千葉中央地区						1,007		
1-A2-5	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	緑地整備	L=90m 護岸工・緑地工	千葉港・千葉南部						64		
1-A2-6	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	係留施設（1）	浮桟橋 N= 1基 L=50m	千葉港・千葉中央地区						0		
1-A2-7	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	係留施設（2）	浮桟橋 N= 1基 L=50m	千葉港・千葉中央地区						293		
1-A2-8	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	護岸工	取付護岸工 L=124m	千葉港・千葉中央地区						286		
1-A2-9	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	防波堤	防波堤L= 80m	千葉港・千葉中央地区						234		
1-A2-14	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	防波堤(波除)	L=70m 防波堤（波除）	千葉港・千葉中央地区						221		
1-A2-21	港湾	内地	千葉県	直接	—	拠点	建設	防波堤（波除）	L=71m 防波堤（波除）	千葉港・葛南中央地区						93		
1-A2-22	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	道路	A=511m 舗装工・護岸工	木更津港・吾妻地区						181		
1-A2-23	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	道路(2)	A=130m 舗装工	木更津港・吾妻地区						0		
1-A2-24	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	物揚場(-2.0m)	L=138m 物揚場	木更津港・吾妻地区						12		
1-A2-25	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	物揚場(-4.0m)	L=10.0m 物揚場	木更津港・吾妻地区						0		
1-A2-26	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	緑地整備	A=2.1ha 用地工、護岸工	木更津港・吾妻地区						110		
1-A2-27	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	緑地整備(2)	A=0.8ha 用地工、護岸工	木更津港・吾妻地区						24		
1-A2-28	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	緑地整備	A=0.3ha 緑地整備	木更津港・富津地区						0		
1-A2-29	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	岸壁(-5.5m)	L=70m 岸壁工	木更津港・木更津南部地区						0		
1-A2-30	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	防波堤	L= 40m 防波堤（波除）	木更津港・木更津南部地区						0		
1-A2-36	港湾	内地	千葉県	直接	—	重要	建設	道路(改良)	L=200m 交差点整備1箇所	木更津港・富津地区						42		
1-A2-40	港湾	内地	千葉県	直接	—	地方	建設	岸壁(-7.5m) (改良)	L=16m 岸壁(-7.5m)	館山港・館山地区						0		
1-A2-41	港湾	内地	千葉県	直接	—	地方	建設	係留施設(-3.0m)	L=50m 係留施設(-3.0m)	館山港・館山地区						0		
1-A2-42	港湾	内地	館山市	直接	—	地方	建設	緑地整備	交流拠点整備	館山港・館山地区						161		
												小計（港湾事業）					2,748	

A3 海岸事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
												小計（海岸事業）					0	
												合計					2,748	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C2-1	施設整備	内地	千葉県	直接	—	照明施設設置	港湾内の照明施設設置	照明灯設置 3 0 基	千葉中央地区						0	
1-C2-2	施設整備	内地	千葉市	直接	—	情報提供施設設置	旅客船運航情報提供施設整備事業	情報提供施設 6 基	千葉市・千葉港						7	
1-C2-3	活動支援	内地	千葉市	直接	—	海上交通運航実験	旅客船等の社会実験	旅客船の運航実験等	千葉市・千葉港						8	
1-C2-5	計画調査	内地	千葉県	直接	—	調査	利用促進検討	来訪者観測等	千葉港・千葉中央地区 千葉南部地区 木更津港・吾妻地区 富津地区 館山港						0	
1-C2-6	活動支援	内地	館山市	直接	—	交流拠点PR	P R 事業	交流拠点 P R	館山市・館山港						6	
1-C2-7	施設整備	内地	館山市	直接	—	交流拠点PR	P R 施設整備事業	P R 施設 1 基	館山市・館山港						5	
										合計					24	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-C2-1	港湾事業(1-A2-4)と一体的に緑地施設や臨港道路周辺に照明灯を設置し、利用者の安全安心を確保する。															
1-C2-2	港湾事業(1-A2-6~9)と一体的に様々な情報を提供する施設を設置し、利用者の利便性の向上を図る。															
1-C2-3	港湾事業(1-A2-6~9)と一体的に船舶の運行実験を行うことにより、小型船舶の利用状況を把握し、今後の運行等の基礎資料とする。															
1-C2-5	港湾事業(1-A2-4~9,26~28,36,40~42)と一体的に利用促進検討を実施することにより、緑地利用者の促進を図る。合わせて本計画の定量的指標の判定を行う。															
1-C2-6	港湾事業(1-A2-40,1-A2-41~42)と一体的に実施することにより、館山港の利活用について広く認知してもらうためイベント等のPRを実施する。															
1-C2-7	港湾事業(1-A2-40,1-A2-41~42)と一体的に実施することにより、館山港の交流人口の拡大につなげるためPR施設を実施する。															

※事業実施期間の点線は地域自主戦略交付金事業での実施を示す。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 木更津港吾妻地区においては、市民が水辺や港に親しみを持てる親水空間として港湾緑地を整備した結果、様々なイベントが開催されて、港湾来訪者数が増加しており、新たな賑わいの創出に繋がっている。 館山港館山地区においては、地域の活性化を図るために港湾緑地を含む交流拠点施設を整備した結果、港湾来訪者数が増加して新たな賑わいを創出しており、後続的に商業施設棟もオープンして好循環を生み出している。 					
II 定量的指標の達成状況	指標①港湾緑地来訪者数(平日、休日等の現地調査により来訪者数の推計を行う。)	最終目標値	300千人	目標値と実績値に差が出た要因	新規来訪者を見込む港湾緑地として、千葉港千葉中央地区、木更津港吾妻地区及び館山港館山地区の3地区に位置する港湾緑地の整備を進めていたが、千葉港千葉中央地区については東日本大震災で千葉港内の他の港湾施設が多数被災してしまったために、災害復旧事業を優先せざるを得ず、港湾緑地の整備が約2年遅れ、平成26年度までに完了させることができなかったため。		
		最終実績値	174千人				
	指標②施設整備による係留船舶隻数(船舶収容施設整備による係留隻数)	最終目標値	30隻	目標値と実績値に差が出た要因		係留船舶隻数を見込む船舶収容施設として、木更津港吾妻地区小型船だまりの整備を行い、平成26年度までに係留施設の整備は完了したが、背後の荷さばき地の整備が間に合わず、結果として、船舶収容施設に船舶を係留させることができなかったため。	
		最終実績値	0隻				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 館山港館山地区の交流拠点施設に隣接する多目的観光棧橋の利用も伸びてきており、大型観光船が寄港したり、観光遊覧船が定期運航するようになった。また、近隣の館山港海岸で開催されるマラソン等のイベントへの参加者数が増加しており、地域全体の活性化に繋がっている。 					

3. 特記事項(今後の方針等)

・引き続き必要性及び優先度による事業の選択と集中を行い、地域の活性化を図るために、より効率的かつ効果的に事業を執行する。